



土地の余白
(記憶)と
ミニマムな
暮らし



R+ design

計画地は、もともと施主の祖母が畑を耕していた土地で、幼い頃にお手伝いをした記憶などがたくさん残っている思い出の場所でもあった。また周囲の土地は70cm~1mほど高く造成されており、南側隣地の植栽は1階の階高近くまで達していた。今回は土地の記憶(一部の畑及び樹木など)が残っている場所を少しでも多く確保するため、建物の規模をおさえて平屋ではなく2階建ての計画とした。また吹き抜けを介した2階からの採光も、時間を限って1階に落とし込み、土間の表情を豊かにした。規模をおさえた建物計画は、土間など1つの場所に複数の用途を兼ねた計画とすることで、全ての要望をクリアするとともにミニマムな暮らしを実現させた。



R+ study



メリット×デメリット

家づくりは多くの方が初めての経験で、色々なシーンで判断や決断を求められます。判断基準をしっかり持つ事で家づくりはとても楽しいものになります。インターネット上には専門家や家づくり経験者の声など多くの情報があり、知識や経験がなくても情報を集める事は難しくはありません。しかし情報が多すぎて何が正しいのか判断に悩むこともあると思います。しかし判断や決断に絶対的な正解や不正解はありません。メリットしかないという選択肢よりは、デメリットも理解したうえで「コレが良い」という選択をしていくことになります。

例えば玄関土間はタイルかモルタルかその他の選択肢など…家に入った瞬間の印象を左右する玄関=その家の顔になるとも言われていますが、タイルは外装や内装に合わせて色柄や機能性も選べます。タイルが良いという人にとってはモルタルは安っぽいという印象を持つ人もいますが、モルタルが好きな人には無機質でシンプル、スタイリッシュな印象があり、タイルより安く、木目や植栽との相性も良いというメリットで人気です。モルタルのデメリットにあげられているシミやクラックなども、経年変化のうでの風合いであり、それを楽しめる方にはメリットにもなります。炭を混ぜた黒モルタルなども、色移りに関するデメリットなどを理解すれば、更なる個性的な表情をもつモルタルの選択肢にもなります。

同じ素材でも、家づくりをするご家族の価値観により、メリットにもデメリットにもなる可能性があるのです。クラシックカーなどにもみられるように手間がかかるほど愛おしいという感覚や、手間はかけ

本写真画像は全国各地の R+house ネットワーク加盟工務店が施工した物件を撮影したものを同ネットワーク全体の広告宣伝のために使用しているものであり、当該物件が特定の工務店等の施工物件であることを保証するものではありません。

- 1 いろんな用途が交錯する土間スペース。時間とともに変化する陰影が、様々な表情をのぞかせる。
- 2 半外空間である外土間を設け、内土間から外庭へ緩やかにつながる、ひとつつながりの空間を演出。内部に広がりをもたせた。
- 3 借景としての南側隣地の植栽、TV、薪ストーブ及び内土間。全方向に対応すべくフレキシブルな空間として計画。
- 4 キッチンにたつ作業時間の割合から、作業台側がリビングと対面するように計画した。雁行(がんこう)型の平面は、その対角線の長さからも実際の空間より広く感じさせる。
- 5 道路側からの建物ファサード。ガビオンと植栽が、往来する人の視線を集め、その奥の空間のプライバシーを保つ。



建築家プロフィール

タナベ マサキ
田辺 真明

- 1972年 愛知県生まれ
- 1996年 名古屋経済大学経済学部経営学科 卒業
- 1996年 株式会社石川設計総合企画 入社
- 1998年 東海工業専門学校夜間部建築工学科 卒業
- 2007年 ウッド・アート・スタジオ株式会社設計課 入社
- 2013年 田辺真明建築設計事務所 設立
- 2021年 田辺真明建築設計事務所株式会社 設立
- 趣味 旅行、サーフィン、音楽、写真

information 完成見学会 開催のお知らせ

「第26回 後悔しないための賢い家づくり勉強会」開催のお知らせ

日時：5月28日(日) 午前の部 9:30~12:30
午後の部 13:30~16:30

場所：裾野市民文化センター (託児スペースもご用意しております)

※完全予約制(各回5組様限定・申込締切日5月25日(木)まで)

マイホーム資金相談会 随時開催中

知らなきゃ選べる
マイホーム 応援セミナー

0120-0550-72

09:00~17:00 (11:00~12:00)

0120-0550-72

0120-0550-72

※ご希望の方はお問い合わせください



R+house 御殿場

岳南建設株式会社

〒412-0043 静岡県御殿場市新橋385

※お申込みお問い合わせはお電話またはQRコードにて

<https://www.rplus-gotemba.jp/>

0120-0550-72





無垢床のメンテナンス方法について

R+house 御殿場の特徴の一つでもある無垢の床。木の温かみを感じられ、調湿性に優れ、質感や素材感の経年変化を楽しめるなどメリットがあります。しかしメンテナンスはどうなんだろう？と不安に思われる方も多いと思いますので、キズが出来しまった場合の補修方法をご紹介します。

日常生活を送っていると物を落としてしまったり、倒してしまって床がへこんでしまうこともあると思います。

仕方ないこととは言え少なからずショックを受けます。

しかし無垢床ならへこんでしまった傷については、濡れたタオルとアイロンで簡単に修復することが出来るんです！！

傷の上に濡れたタオルを置き、その上から熱したアイロンをあてると、無垢床が水を吸って膨らむため元に戻ってくれます。

身近なものでメンテナンスできるなんて驚きですね！ただ、実はへこみ自体はほっておいても経年変化で目立たなくなっていくます。



またコーヒーや醤油をこぼしてしまった時は…

放置するとシミになり、落ちにくくなってしまいますので、こぼしてしまったら、すぐに乾拭きもしくは硬く絞った布巾で水拭きしてください。

それでも取れなかった場合、そんな時は紙やすりで汚れを削り取ってしまいましょう！

無垢床ならではの方法ですね。その際は表面のオイル塗装も一緒に削り取ってあげて、最後に自然塗料を染み込ませたウェス(布切れ)で再塗装してください。

万が一、ささくれができたとしても同じように紙やすりをあててなじませてあげれば、簡単に自分でメンテナンスすることが可能ですよ。

いくつかの注意点はありますが、それを差し引いても有り余る良さがあります。使い続けるごとに風合いが増していく無垢床。家族の歴史と一緒に刻んでくれる住まいづくりに、「無垢床」はいかがでしょう？



隣家からはみ出す 変りました 竹木・切りルールが

これまでは竹木所有者に切ってもらえなかった越境している竹木。民法の改正で令和5年4月より、条件を満たせば竹木の所有者に同意を得ることなく、越境された土地の所有者が枝を切るできるようになりました。



改正後は…

- 竹木の所有者に枝を切ってもらいたいけれど、2週間相当の期間を経ても対応してもらえない場合、土地の所有者が枝を切るようになりました。

OK

その際、枝を切るのに必要な範囲であれば、隣地へ入ることも可能です。

- 複数人で所有している土地からの竹木の侵入であれば、所有者の一人にお願いすればOK。また竹木の所有者が不明もしくは所有者の所在を知ることができない場合も、切ることができます。

- 災害等で越境した枝を切る必要がある時など、急迫の事情でも土地の所有者が切ることができます。

* R+cooking *

プリンカップ4つ分

プリン



- 《材料》
- ・牛乳 210 cc ・卵 150g ・お好みの砂糖 50g
 - ・お好みでブランデーやラム 15 cc ・あればバニラペーストかバニラエッセンス
 - <カラメル> ・グラニュー糖 30g ・お水 10 cc
 - <飾り付けで> フルーツやホイップクリーム

《下準備》

卵は常温に戻しておく。

- 《作り方》
- ① 鍋に牛乳(あればバニラペーストかバニラエッセンス)を入れ温めます。砂糖を入れて混ぜます。
 - ② ボウルに卵を入れ、泡立て器で混ぜます(泡立てないように)。温まった牛乳と卵を混ぜて、お好みのブランデーやラムを入れ混ぜます。
 - ③ 生地が滑らかになるように、一度濾します。
 - ④ カラメルを作ります。鍋にグラニュー糖とお水を入れ、グラニュー糖が溶け出して、色が変わるまで待ちます。(この時、絶対混ぜないように)色がカラメル色になったらカップに少しずつ注ぎ、固まるまで待ちます。
 - ⑤ 卵液をカップに注ぎます。